

第三種郵便物承認

HSK

通巻2989号

2011年1月8日発行

# HSK

## 会報「石川守る会」

No. 5 2

石川県重症心身障害児（者）を守る会  
全国重症心身障害児（者）を守る会  
石川県支部 会長 山本 衛

あけましておめでとうございます。



年末からの大雪で寒い冬となりました。インフルエンザや感染症の流行する季節になりました。会員の皆様、お子様たちには十分ご注意下さい。

さて、昨年度から審議を重ねてきた「障がい者制度改革推進会議」では各部会ごとの「作業チーム」に分かれての議論が始まりました。

障害のある人たちがどこにいても安心して生活できる新法作りが進むように見守っていききたいと思います。

### 東海・北陸ブロック大会 ～ 天晴温泉

#### ～石川県から 23名参加～

東海・北陸ブロック大会は昨年11月13～14日に富山県天晴温泉で開催されました。石川県からは病院の先生方・職員のみなさんそして会員を含めて23名が参加されました。

会場は天晴温泉の「磯はなび」というとてもすてきなホテルでした。

まず30年の長きにわたって富山病院で重症児（者）に関わってこられた名誉院長の京谷征三先生による基調講演がありました。



重症児（者）施策の流れから全国の重症児（者）の状況、富山病院での取り組みさらには超重症児（者）についてなど幅広くお話しをしていただきました。

その後施設、在宅、母親の3分科会に分かれて話し合いました。石川県から参加されたみなさんも司会を担当したり発言をしたりと活躍されました。

夜は大広間で懇親会があり石川県内の人たちと親交を深めたり、県外の人とも交流をしたりしました。東さんは舞台上がってカラオケを歌われました。

2日目は宇佐見事務局長の情勢報告の後7月にNHKで放映された「不足する施設 家族の苦悩」を見ました。24時間医療の必要な人たちの受け入れ先がない、長年家で見てこられた家族の疲労に対応できないなど問題が提起されていました。

参加された方々の感想を紹介します。



- \* 在宅分科会に参加して私の親に近い年齢の方が制度やサービスを利用しながら在宅で頑張っているとお話を聞き、驚きました。小グループに分かれての意見交換で、医療的ケアを必要とする人たちが利用できるサービスの充実や施設などへの要望も、親自身がもっと声を出して行政等に伝えていく必要性を感じました。
- \* 後見人としてのあり方を具体例で聞かせて頂いてとても参考になりました。親も子も年を取り不安はたくさんありますが役所などとも相談しながら生活したいと思いました。参加できてよかったです。
- \* 「守る会」が自治体から補助をもらって運営しているのを聞いてびっくり！富山では在宅の方の家を訪問していると聞いてびっくり！他県では「守る会」として在宅支援活動を頑張っていると思いました。石川県もがんばりましょう！
- \* 第三者後見人としての役割や接し方が聞けて興味深かったです。また後見人としてしなくてはいけないことと出来ないことが具体的に聞けて参考になりました。現在講師の先生は4名の方の後見人をされているとのことで、深い熱意と愛情が感じられました。
- \* 敷居の高い家庭裁判所をもっと気軽に利用してもいいんだと思いました。
- \* 基調講演で富山病院のことがわかったし、障害に対する種類、原因、制度など知らないことが少しわかってよかった。後見制度についても第三者には出来る範囲に制限がある。今後は親が年々老いていくができるだけ子ども共々元気に生きていかなければと思いました。
- \* 今回ブロック大会に参加してみなさんが頑張っておられる姿を拝見し素晴らしいことと思いました。「守る会」の活動も、地域の地道で継続した活動が支えていることを改めて感じました。
- \* 初めて分科会に参加して、色々な県や立場の方のお話を聞かせていただき石川県の状況は良い方だと感じました。皆さん方のおかげです。石川から在宅の方がたくさん参加されていてびっくりしました。



保護者研修会

“みんながそれぞれに楽しめた音楽療法”

11月28日医王養護学校の体育館をお借りして今年度の保護者研修として音楽療法を楽しみました。講師は以前にも来ていただいた竹元まゆみ先生です。当日はスタッフやボランティアを含めて総勢64名の参加でした。まずはシャボン玉によるごあいさつです。フワフワととんでいくシャボン玉を目で追っている人、「あれ？なに？」と不思議そうな表情の人などひとりひとりがそれぞれに何かを感じていたようです。そのご音楽に合わせて手足をタッピングしたり、マッサージしたりと触れていきます。最初は一寸こわばっていたMちゃんにこっと笑ったかと思うと後は声も出てとてもうれしそうに楽しんでいました。少し場面が変わると泣き出すHさんも今日は泣かずに参加しています。お風呂のようにゴシゴシしたり、歯磨きのまねをしたり身体もほぐれてきました。何と言っても鳴子を振っての「函館の女」と「365歩のマーチ」は参加者全員がのりのりでした。

鈴やスカーフを持って音楽に合わせて踊ったのも楽しかったです。

きれいな色のパラバルーンの下で風や色を感じました。

自分がいつも聞いている音楽が流れると足を動かしてアピールしていたDくんボランティアの学生さんに一緒に踊ろうと手を出そうと頑張っていたNさんなどみんな音楽に刺激されて積極的に参加できました。

みんなの好きな音楽、保護者の皆さんのなじみの曲などバラエティに富んだ曲の数々で参加した人全員が楽しめました。

保護者の皆さんも久しぶりに身体を動かしてすっきりしたようです。

午後は「だれでもどこでもいつでも楽しめる音楽療法」についてお話していただきました。日頃実践していらっしゃる写真などを使って楽しくお話ししていただきました。

久しぶりに楽しい活動に参加できて子どもも私も身体がほぐれました。ボランティアさんに身体を動かしてもらって初めは緊張していましたが笑顔も見られてよかったです。また機会があれば参加したいです。ありがとうございました。

私たち親の知っている歌もあったとても楽しかったです。子どもも声を出して笑ったり手をさかんに動かしたり満足したようです。お世話していただいてありがとうございました。

竹元先生ありがとうございました！！



第三種郵便物承認 HSK 通巻2989号 2011年1月8日発行

# 重症心身障害児（者）の在宅支援について考える会のご案内

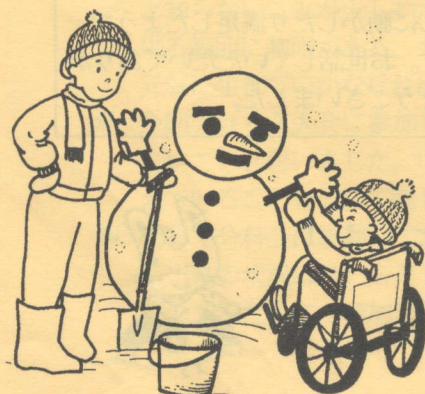
日 時 平成23年1月22日（土）13時30分～15時  
場 所 医王病院 デイケア棟  
講 師 金沢市福祉健康局障害福祉課 杉本佳世様  
主 催 石川県重症心身障害児（者）を守る会  
後 援 金沢市肢体不自由児者父母の会  
石川県肢体不自由児者父母の会

重い障害のある子ども達の生活の場のことや日中通える場などについて悩んでおられる方もいらっしゃると思います。福祉制度も毎年のように変わりどのように利用できるのか困っておられる方もいらっしゃると思います。そこで今回金沢市障害福祉課のご協力も得て上記のような学習会を計画しました。お気軽にご参加下さい。

## 昼食会のお知らせ

今年度第1回目の昼食会を3月13日（土）に計画しています。  
詳しいことは次号でお知らせしますのでみなさん予定に入れておいて下さい。

計報 平成22年9月「石川守る会」理事久保貞人様のご息女里美さんがなくなられました。心よりご冥福をお祈りいたします。



編集人 : 石川県重症心身障害児（者）を守る会  
連絡先 : 929-0123 石川県能美市中町ツ88-1  
Tel 0761-56-0610  
会長 山本 衛  
発行人 : 北陸障害者定期刊行物協会  
富山市今泉312番地  
定 価 30円